

## 原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和5年1月13日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：黒川長官官房総務課長

### <本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから1月13日の原子力規制庁定例ブリーフィングを始めます。

○黒川総務課長 報道官の黒川です。

お手元の広報日程に沿って説明をいたします。

まず、1月18日の（3）ですけれども、来週の委員長の定例会見ですけれども、13階のいつもの会場が会議で使っていますので、ここの場所で行います。

次が、1月19日の（4）ですけれども、高経年化技術評価に係る審査会合です。

議題は、いずれも高経年化技術評価の30年の時点のものということで、4つの炉を対象に行います。志賀1号、島根2号、浜岡4号、柏崎刈羽3号の4つです。

このうち島根2号は新規制基準の許可を挟んで4年ぶりというものになります。ほかの3つは前回10月6日にやっていますので、その続きということになります。

次が、裏に行きまして1月20日の（5）、第1106回審査会合です。

議題は1つで、泊の火山影響評価についてということで、これは一昨年10月が前回になりますけれども、そのときに出た宿題の回答といったことになります。

こちらからは以上です。

### <質疑応答>

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり所属とお名前をおっしゃってから質問のほうをお願いいたします。質問のある方は手を挙げてください。

よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。ありがとうございました。